令和６年度　　高槻市立竹の内小学校　学校教育目標・教育経営方針

学校教育目標（新）
「一人ひとりが　自信をもって　社会を生き抜ける　子どもの育成」

めざす学校像	①　「できる力」を身につける学校　　②　「自信」と「喜び」が体感できる学校 ③　「安心感」「心の安定」が保障できる学校

新しい学校教育目標の実現に向けた教職員の姿
◎目の前の子どもたちを「しっかり見る」「正しく理解する」「粘り強く成長を促す」
◎「わかった」「できた」「もっとやりたい」授業の実現を目指す
◎今だけでなく、近い将来（数年後・中学校）の姿をイメージした責任ある指導を実践する

学校教育目標の実現に向けた２つの教育重点項目

１．子どもたちの将来を見据えた「確かな学び」ができる学校づくり

★子どもたちの「学力定着」にむけた粘り強い実践
- ○「わかる」「できる」「もっとやりたい」が増える日常の授業づくり
- ○学力定着に向けた個々の教員の根気強く丁寧な学習指導
- ○校内全体で授業研究を実施し、組織的に学力向上に取り組む
  - ・「できない状態で次学年に上げない」を学校全体で意識した取り組みをする
  - ・「次の学年・将来の子どもの姿」を意識した学力定着・到達目標を設定する

★「子どもに本当に力がついているか」にこだわる授業づくり
- ○「子どもに着実に力が身についたか」を意識・確認した日々の授業・校内研究
  - ・「教えっぱなし」にしない。子どもの定着まで見届ける姿勢・取り組みをする

★子どもの主体性、子どもが主役になれる学びの場の創造
- ○子どもたちの「やりたい」気持ち・意見が発揮できる学びの場の保障
- ○地域を生かした学びの充実：「地域の一員」としての自覚・社会性の育成
  - ・総合的な学習の時間や生活等を生かした体験活動、学校行事の充実

２．子どもたちが安心・安全に過ごせる学校づくり

★一人一人の子どもの居心地良い学級・やりがいを感じる学習活動の追求
- ○子どもの達成感・人間関係づくりにつながる取り組みの充実
  - ・「自信」と「喜び」の活動を増やす（児童会活動、学級活動、学校行事等）
  - ・自己有用感や達成感を体感できる活動・環境の設定する（総合学習、係活動等）

★子どもたちの不安に対する教職員の早期発見・初期対応の実現
- ○子どもの変化を感じ取るアンテナをもつ（児童理解・教職員連携）
- ○保護者と協働し、「ともに子育てをする」関係性の構築

★学年を中心とした生徒指導の組織的対応力の向上
- ○いじめ事案への毅然とした対応と指導、不登校対策の充実

★安心・安全な学校環境
- ○学校事故の防止（学習活動・教室等の環境設営、あらゆる活動の安全配慮）
- ○学校ルールの適切な運用（授業のきまり、休憩時間・放課後のきまり）
- ○子どもたちの安全が保障できる実践的な防災訓練、安全学習の充実